

専門分野Ⅱ	成人看護学 (実習)	6単位 (270時間)	配当：2～3年次
-------	---------------	----------------	----------

成人看護学実習の位置づけ

基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱで学んだ知識・技術・態度を活用し、成人期にある対象を統合的に理解し、健康問題の解決や健康課題の達成に向けての看護を实践する実習とする。その過程において、臨床看護実践力を身につけるための基礎的知識・技術・態度を習得し、看護の役割や自己の看護の考えを深めていくことを目指す。

	ねらい	実習目標
成人看護学実習Ⅰ	成人期の特徴と健康障害が生活やセルフケア能力へ及ぼす影響を踏まえ、対象を生活者として統合的に理解し、対象の自己決定を支えながらセルフケア能力を高める看護を实践できる基礎的知識・技術・態度を養うと共に自己の看護観を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象を生活者として統合的に理解し、対象の自己決定を支える。 2. 健康障害が対象の生活やセルフケア能力へ及ぼす影響を考えながら、セルフケア能力をアセスメントし看護を实践できる。 3. 看護について自己の考えを述べる。
成人看護学実習Ⅱ	成人看護学実習Ⅰを基盤に、成人期にある対象の機能障害、症状、治療処置とこれらが対象の生活に及ぼす影響について理解する。対象が病気と向き合い、折り合いをつけ、一人の生活者としてその人らしく生きていくことができるための看護が实践できる基礎的知識・技術・態度を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康障害について理解し、生活に及ぼす影響を考えながら、対象のセルフケア能力を高める看護を实践できる。 2. 病とともによりよく生きることを支援する看護を实践する。 3. 看護について自己の考えを述べる。
成人看護学実習Ⅲ	生命の危機状態で急激な変化をきたしている患者の状態をアセスメントし、チームの一員として健康危機状況にある患者のセルフケアを支え、回復を促すための看護を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち患者が受けた侵襲についてアセスメントすることができる。 2. 受け持ち患者の生命の安全を守り、苦痛の緩和や異常の早期発見・合併症の予防を行いながら、回復を促すための援助を考える。 3. チーム医療の重要性について理解し、チームの一員として行動することができる。 4. 看護について自己の考えを述べる。
実習施設	京都第二赤十字病院	